

VPNDisable ServiceProfile XMLに関するXDRクライアント管理プロファイルのアップロードの問題

内容

お問い合わせ内容

XDR Client Management > Profilesを使用して、<ServiceDisable>true</ServiceDisable>設定が含まれているカスタムVPNDisable_ServiceProfile.xmlファイルをアップロードしようとする、XDRシステムはカスタムXML設定を完全なAnyConnectProfile設定で上書きし、ServiceDisable設定を削除します。これにより、エンドポイントにVPN機能のないCisco Secure Clientを導入することが防止されます。

環境

- 製品ファミリ：セキュアアクセス(SECACCS)
- テクノロジー：Cisco Secure Client (旧称：AnyConnect)
- XDRクライアント管理ポータル
- カスタムVPNDisable_ServiceProfile.xml設定
- VPN機能のないCisco Secure Clientを必要とする導入シナリオ

解決策

カスタムXMLのアップロードは、XDRポータルではサポートされていません。アップロードされたカスタムXMLファイルは、完全なAnyConnectProfile設定で自動的に上書きされます。

ただし、目的のVPN無効設定を実現するには、次のような導入方法があります。

別の導入方法

方法1：パッケージ統合のインストール

ベンダーが管理するマシン（直接管理下でないマシン）の場合、Cisco Secure Clientの初期導入時に、インストールパッケージの一部としてカスタムVPNDisable XMLを追加する必要があります。

方法2：エンタープライズ管理ツール

Active Directoryに参加しているマシンの場合は、次のようなエンタープライズ管理ツールを使用してVPNDisable XMLファイルを展開します。

- Microsoft Intune
- System Center Configuration Manager (SCCM)
- その他のエンタープライズ導入ソリューション

検証済みの回避策

次の回避策が正常にテストおよび検証されました。

ステップ1:XDRからVPNプロファイルを削除します。

XDR管理プロファイルセットからVPNプロファイルを削除し、自動上書きを防止します。

ステップ2：手動によるXMLの導入

`<ServiceDisable>true</ServiceDisable>`設定が含まれているカスタムVPNDisable_ServiceProfile.xmlファイルを手動でターゲットエンドポイントにコピーします。

ステップ3：システムの再起動

ターゲットエンドポイントをリブートして、設定が有効であることを確認します。

ステップ4：検証

リブート後、次の点を確認します。

- XMLファイルはXDRによって上書きされません。
- Cisco Secure ClientにAnyConnect VPNモジュールが表示されなくなりました
- VPN機能が正常に無効になりました

この回避策は正常に検証され、テスト済みエンドポイント上のCisco Secure Clientに実装後にAnyConnect VPNモジュールが表示されなくなったことが確認されました。

原因

XDRクライアント管理ポータルは、カスタムXMLファイルのアップロードをサポートしていません。このシステムは、完全なAnyConnectProfile設定を自動的に生成して管理するように設計されており、ポータルインターフェイスを介してアップロードされたカスタムXMLコンテンツを上書きしません。ServiceDisable要素は、この自動プロファイル生成プロセスの間は保持されません。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。